

高齢者の心臓弁膜症手術

この病気 この治療



呉医療センター
心臓血管外科長
仲村 肇也さん

「心臓手術は体への負担が大きいのは、概か十五年以上の病前では高齢者に対する心臓

広まり、体への負担は小さくなりつつある。

最高齢は90歳

「高齢者の手術症例は、

当センターでは高齢の患者が非常に多い。弁膜症手術を実施した百三十七件（二〇〇四年一月～〇六年五月）の平均年齢は七一・七歳、約四人に一人が八十歳以上である。原因は、

「高齢者の弁膜症の原因は、高齢になると、心臓の弁は組織硬化で硬くなったり、変形したりする。弁が十分開かなくなる（狭窄）と、十分閉じなくなる（閉鎖不全）がある。血液が逆流・逆流、心臓のポンプがうまく働かなくなる。動悸や息切れ、胸の痛み、疲労感、呼吸困難といった症

技術進み体の負担減 年齢差ない手術成績

加齢による心臓弁膜症が増えている。根治には手術が有効だが、年齢を理由に敬遠する患者は多い。しかし手術成績は高齢者でも良好になってきた。高齢者の弁膜症手術について国立病院機構呉医療センター（呉市）の仲村肇也・心臓血管外科長（40）に聞いた。

（上杉智己）

手術は避けてきた。しかし心臓手術の技術が進んで、胸の切開を従来の半分程度で済ませたり、心臓停止の時間を大幅に短縮したりできるものになった。こうした手術が

り、最高齢は九十歳だった。高齢化率の上昇に伴い、手術が必要な患者は「弁」に多い。増えている。

「手術成績は、百三十七件の術後三十日以内の死亡率を年齢別でみると、七十歳以下は一件、七十一～八十歳は二件、八十歳以上は〇件と、成績差はほとんどなかった。体力や健康状態の個人差により術後の回復に差がある。術後、重症化する場合もある。注意を要する。薬物治療で症状はある程度コントロールできるが、薬物では治らない。機能

薬で根治せず

「なぜ手術が必要なのですか。診断を受けても症状が軽いからと放置している患者は少なくないが、進行の速い症例もある。不整脈により突然死を起す場合もある。注意を要する。薬物治療で症状はある程度コントロールできるが、薬物では治らない。機能



心臓弁膜症の手術に臨む仲村さん（左から三人目）。高齢患者の手術成績は若年患者と遜色なく（上杉智己）

「高齢者の心臓弁膜症手術」についての費用・相違を掲載します。郵便、ファクス、メールで中国新聞報道部「この病気」の治療課まで、掲載は匿名ですが、住所、名前、年齢、性別、連絡先を併記してください。